

語ろう 使おう しまくとうば

ばなさな しからな しまくとうば

なぐくとうば (名護ことば)

🔊 スピーカーをクリックすると、
音声流れます。



『語ろう 使おう しまくとうば』
『ばなさな しまからな しまくとうば』
「なぐくとうば（名護ことば）」

本書を利用するにあたって

本書『ばなさな しまからな しまくとうば』では、名護ことばの話者、金城敏子さん（名護市大兼久出身）の協力を得て作成しました。

「しまくとうば」の表記は、カタカナやローマ字、音声記号で表すなど、いろいろな方法があります。本書では、県民の皆様が日ごろから親しんでいる平仮名を用いています。

しかし、「しまくとうば」で言い表すことが難しく、共通語をそのまま使っていることばに関しては、漢字やカタカナを用いて表記している箇所もあります。

また、「しまくとうば」には、五十音の文字では表記できないことばがあります。それを表記するために、特別な表記を使っている語もあります。

本を読む前に、右頁にある「特別な表記について」の説明を読んで、ご理解いただきますようお願い致します。

特別な表記について

本書を活用する際、「**っわ**」や「**いえ**」など、日ごろ目にすることのない表記があることに気がつくと思います。これらの表記について、ここで説明します。

① のどに力を入れて発音する音

（声門閉鎖音ーせいもんへいさおんー）

発音の出だしに、のどに力を入れて発する音を声門閉鎖音といいます。この音は日本語の共通語には普通みられない音なので、かな文字がありません。ですから、かな文字を2字組み合わせ、左上に小さな「っ」を添えて書き表しました。

例えば、名護ことばの「**わー**」は「私」の意味になりますが、のどに力を入れて発する「**っわー**」は「私」ではなく、「豚」の意味になります。補助記号「**っ**」が付くか付かないかで、意味が全く違ってくるのです。この音はなかなか発音しづらいのですが、「ん」と「わ」を区切って発音し、それを次第にちぢめていくと似た音を発音できるようになるでしょう。

沖縄本島の北部では、他にも「**っやー**（君）」「**っんむ**（芋）」などにも同じようにのどに力を入れて発音されています。「**っん**」の方は、おなかに力を入れて「いきむ」ように発音すると、発音しやすくなります。

ちなみに、沖縄本島中南部には、この音に似た音があり、単語の最初の音を発音する際にのどに力を入れて、詰まるような音（例えば名護市では「**っまーり**（生まれ）」

「**つめーし**（お箸）」などの単語の出だしにこの音が表れます（北部地域のこの音のことを「^{こうとうか}喉頭化音」といいます）。名護市大兼久でも、「**つもーれー**」（いらっしやい）や「**つゆー**」（魚）「**つぴー**」（火）などがあります。

② やわらかい発音ではじまる音がある

（ゆるやかな声立て）

①の「のどに力を入れて発音する音」とは真逆のような音で、出だしに全く力を入れずに発音するのが、この音の特徴です。ごく簡単にたとえるとボリュームを次第に上げる「フェード・イン」のようなイメージです。本書では、この音を表すために左上に小さな「い」や「**っ**」を添えて「**い**い」や「**っ**う」で表記することにしました。

例えば「夫」は「**っ**うとう」、「縁（えん）」は「**い**いん」となります。通常の出だしの発音の「**う**とう」は「音」の意味になり、「**い**ん」は「犬」の意味になるため、出だしをやわらかく発音しないと、通じないこともあります。

この音の特徴は、通常の1音の長さより、ほんの少しだけ長め（1.2～1.3 ぐらい）の音であることです。また、「**い**い」のときには唇を平たくしてあまり開けずに、「**っ**う」のときには唇を丸めて少し突き出すようにすると上手に発音できるようになりますよ。

なお、「**っ**うがむん」（拌む）や「**い**いー くとう」（良い

こと）の「**い**いー」（良い）などの出だしにも、この音があるのです。

③ 伸ばす音は「ー」で！

母音が伸びるとき、音を区切って発音することはありません。例えば「獅子」を意味する「**しーさー**」は、通常の発音では「し」「い」「さ」「あ」と区切って発音することはありません。「**しー**」と「**さー**」は区切ることができませんが、「**しー**」は区切ることができないため、本書では「**しー**」と表記することにします。

④ 微妙に伸びる言葉 半長音

名護市大兼久では、語尾が微妙に伸びる言葉があります。「**きみそーれー**」「**みんどー**」「**まーはいびーたん**」などです。これを半長音といいます。発声するときには、半拍程度の長さとなります。

⑤ 名護くとうばの特徴

名護くとうばは、昔の古い言葉の形を残しています。P音です。早起きを「**ペーうき**」、畑仕事をする人を「**ぱるさー**」などと発音するものです。他にもどのような言葉がP音になっているか確かめてみるのもいいでしょう。

1, 挨拶ことば……………8

- ◆朝起きたとき (8)
- ◆ごはんを食べるとき (9)
- ◆出かけるとき (9)
- ◆外で友人に出会ったとき (10)
- ◆(午後の時間帯) 外で知人に出会ったとき (10)
- ◆仕事場から帰るときの挨拶 (11)
- ◆夕方・夜の挨拶 (12)
- ◆初対面のときの挨拶 (12)
- ◆二回目以降のときの挨拶 (13)
- ◆その他の挨拶 (14)
- ◆正月の挨拶 (15)



2, 自己紹介……………16

- ◆自己紹介 (16)
- ◆家族を紹介します (17)



3, 身体用語……………18

- ◆身体を表すことば (18)
- ◆身体に関連することば (20)



4, お祝いや行事等で使えるしまくとうば……………22

- ◆お祝い (22)
- ◆「おめでとうございます」を表現することば (23)
- ◆行事の際に使うことば (24)

5, 拝みのときに使うしまくとうば……………26

- ◆祈願することば (26)
- ◆まじないことば (27)

6, 病院での会話……………28

- ◆診察のときの受け答え 1 (28)
- ◆診察のときの受け答え 2 (30)



7, その他……………32

- ◆食事のときに使うことば (32)
- ◆問いかけのことば (33)



8, ことわざ……………36

9, タクシー運転手との会話……………38

- ◆名護でタクシーに乗る (38)

10, 地域の特徴……………40

- ◆沖縄県の様子 (40)
- ◆名護市の特徴 (42)
- ◆観光案内 (43)



1, 日常的な挨拶ことば (えーさち くとうば)



◆朝起きたとき

- ・もう目が覚めたの? (お目覚めですか?)

なー みーちゅーたんな?

(なま うきみそーち?)

なま うきたん!

なま うきみそーちー?



- ・お目覚めですか? (丁寧な言い方)

なー みーちゅーいみそーちゃんなー?

- ・早く起きなさい。もう朝だよ。

へーく うきれー。なー あさ なとうんどー。

- ・朝ごはんは食べた?

ひていみていむん かだんな?

// うさがいみそーちゃんな? (丁寧な言い方)

- ・朝ごはん食べなさい。(召し上がれ)

ひていみていむん かめー (うさがれー)。

※沖縄には共通語にあるような「おはようございます」や「おはよう」にあたる挨拶言葉はありません。「こんにちは」や「こんばんは」も同じです。



◆ごはんを食べるとき

- ・お召しあがりください。

うさがいみそーれー。

- ・さあ、いっしょに食べよう。

りー、まんじゅい かまー。

- ・いただきます。

くわっちーさびら。

- ・ごちそうさま。

くわっちーさびたん。

- ・大変おいしかったです。

でーじな まーはいびーたん。

- ・とってもおいしい (おいしかった)。

でーじな まーはん (まーはたん)。

まーはたんな=「おいしかったね」子どもに言うとき。



◆出かけるとき

- ・行ってきます。

いじかー ひん。

- ・気をつけて行ってらっしゃい。(夫や目上の人に対して)

きーしきてい いじ めんそーれー。

- ・気をつけて行きなさい。(子供や目下の人に対して)

きーしきてい いきよー。





◆外で友人に出会ったとき

- ・きょうは、良い天気だね。

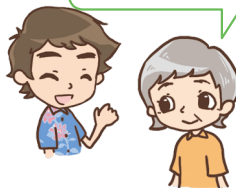
くーや いいー づわーしきやー。

- ・きょうは、早起きだね。

くーや ペーうき しちゅさやー。

くーや ペーうきやー。

いいー
づわーしきやー



- ・どちらへいらっしゃるのですか？（年上の方に対して）

だーちが づもーいる？

だーちが づもーいが？

- ・どこへ行きましたか？

だーが づもーちやる？

- ・こちらにいらっしゃい。

まーち づもーれー。

だーが
づもーちやる？



◆（午後の時間帯で）外で知人に出会ったとき

- ・こんにちは。

はいさい。

※この言葉は、いつでも挨拶の言葉として使います。また、男性は「はいさい」、女性は「はいたい」となります。しかし、名護くとうばのように、男女を問わずに「はいさい」を使う地域もあります。



◆仕事場から帰るときの挨拶

- ・気を付けて帰ってね。

きー しきてい けーていきよー。

- ・はい、また明日ですね。

はい、また あちゃーやー。

あちゃーやー さい＝目上の方に対して

また あちゃーやー



※返事の言葉は、目上の方には「うー」。同年代や目下には「づん-」が使われます。また、尊敬するような方には「おー」と使う場合もあります。

- ・さあ、一緒に帰ろう。

りー、まんじゅい けーら。

- ・さあ、疲れを癒しに行こう。

りー、うたいのーしーに いか。

うたいのーし！

- ・そうだね（はい）。

あんすんやー（づん-）。

- ・どこへ行こうか？

だーち いくが？

だーち いくが？





◆夕方・夜の挨拶

- ・ただいま（今帰ったよ）。

なまる けーたんどー（なまる けーたる）。

- ・今帰ったの？ 疲れてないですか。

なまる けーたんなー？ ぐたりらんたんな？

- ・夜になったから、寝ようね。

なー ゆーきーとーとう にんばやー。 ゆーる-＝夜

- ・おやすみなさい。（「もう、寝ようね」寝る人の言葉）

な- にんばひー。

- ・おやすみなさい。（「もう、おやすみください」返す人の言葉）

なー ゆくいみそーれー。

◆初対面のときの挨拶

- ・初めまして。

ばじみてい うがなびら。

ばじみてい やーさい。

- ・よろしくお願いします。

ゆたしく うにげーさびら。

- ・初めまして、お見知りおきください。

（「よろしくお願いします」と同じ意味。）

ばじみてい うがなびら、

みーしっちょーてい きみそーり。



◆二回目以降のときの挨拶

- ・お元気でしたか（元気だった）？

がんじゅー やみそーたんな-（やたんな）？

- ・久しぶりだね、失礼していました。

まーるけーとう やー、ぐぶリー さびたん。

まーるけーとう いえーびーたんやー。（丁寧な言い方）

- ・久しぶりだね。ずっと元気でしたか？

まーるけーとう やー。

ちゃー がんじゅー あみ そーちゃんな-？

- ・最近は何を見なかったけど、忙しかったの？

ちかぐるや ちら- みららんたしが、

いちなさる あいたんな？

- ・今日も暑いですね。

くん あちさんやー。

- ・そうだね、毎日暑いですね。

あんやさ、めーなち あちさんやー。

あんしとっや-、めーなち あちさんやー。

- ・今日は寒いね。

くーや ぴーさんや-。

- ・寒くなってきたね。

ぴーさく なていちゃんやー。





◆その他の挨拶

(うぬぶかぬ えーしちぬ くとぅば)

- ・ありがとうございます。 にへーでーびる。
- ・ありがとうございました。 にへーでーびたん。
- ・ごめんなさい。(堪えてください。)

くねーていきみそーれー。

(くねーみそーれー。)

- ・失礼します。(失礼しました。)

くねーてい
きみそーれー！

ぐぶりーさびら。(ぐぶりーさびたん。)

- ・ごめんください。
- ・お上がりください。 いっち づもーれ-。
- ・いらっしゃいませ。どうぞお上がりください。

づまーち づもーれ-。あがてい きみそーれ-。

- ・先生がいらっしゃる。(来ますよ。)

しんしーが づもーいん。(づもーいさ。)

- ・いらっしゃる？ づもーいんな-？

- ・ここにいらっしゃい。

づもーいんな-？

まーち づもーれ-。

- ・いらっしゃいませ。 づもーれ-。



※「そこに」 = 「あまーに」、 「ここに」 = 「づまーに」



◆正月の挨拶

いー そーぐわち でーびる



- ・明けましておめでとうございます。

みーどうし (みーそーぐわち) あきてい おめでとう
ございます。

- ・新しい年を迎えて、お慶び申し上げます。

みーどうし むけーてい お慶び申し上げます。

※「おめでとうございます」「お慶び申し上げます」に対する名護
くとぅばを聞くことが出来ませんでした。

- ・良いお正月です (正月だね)。

いー そーぐわち でーびる (そーぐわちやー)。

- ・良い正月になりましたね。

いー そーぐわちに ないびたんや-。

- ・今年もよろしくお願いします。

くんどゥん ゆたしく うにげー さびら。

2, 自己紹介



◆自己紹介

- ・こんにちは、私の名前は金城です。よろしくお願いします。

はいさい、わにが なまえや きんじょー

いえーびん。ゆたしく うにげー さびら。

- ・こんにちは、私は金城と申します。よろしくお願いします。

はいさい。わにや きんじょー いえーびん。

ゆたしく うにげー さびら。



- ・私は金城です。役所に勤めています。

わにや きんじょー いえーびん。

やくばに ちとみとーびん。

- ・名護市大兼久の生まれです。

なぐし ぽーがにくぬ うまり いえーびん。

- ・相撲観戦が趣味です。

しまー みーしが づんむさん。



◆家族を紹介します

- ・私の家族を紹介します。祖父の一郎、祖母の富子、父の次郎、母の直美、妹の一枝、家族は、みんなで6人です。

わた やーにんじゅ うんぬき さびら。

ぷっぷー 一郎、ぱっぱー 富子、ちゃっちゃー 次郎、

あんまー 直美、うっとうー 一枝、やーにんじゅや、

むるち るくにん いえーびん。



祖父
(ぶっぷー)



祖母
(ぱっぱー)



父
(ちゃっちゃー)



母
(あんまー)



私
(わにー)



妹
(うっとうー)

年上 (とうしゝわーび) 年下 (とうししちや- (うっとうー))
男 (いいきが-) 女 (いいなぐ-) 弟 (いいきがうっとう) 姉 (あーば-)
兄弟 (いいきがきよーてー) 姉妹 (いいなぐきよーてー) 兄 (やっちー)
赤ちゃん (あかんぐわー) 孫 (づまーが) おば (うばまー)
年下のおば (うばまーぐわー) 年上のおば (ぼーうばまー)
おじ (うじゃさー) 年下のおじ (うんちゅーぐわー)
年上のおじ (ぼーうんちゅー) いとこ (いちく-) 甥 (みーつくわ)

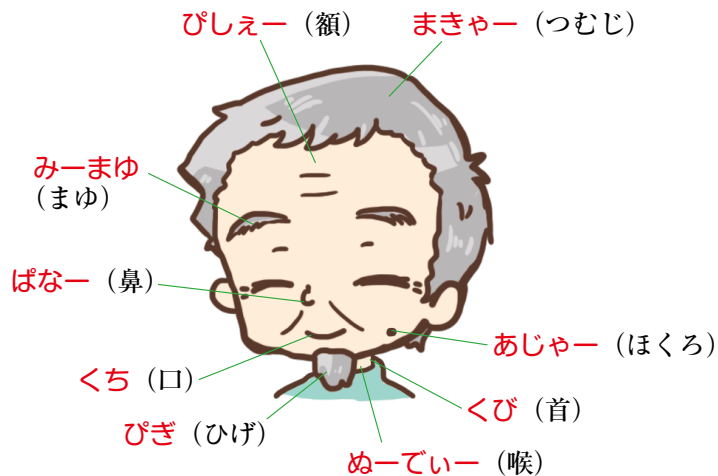
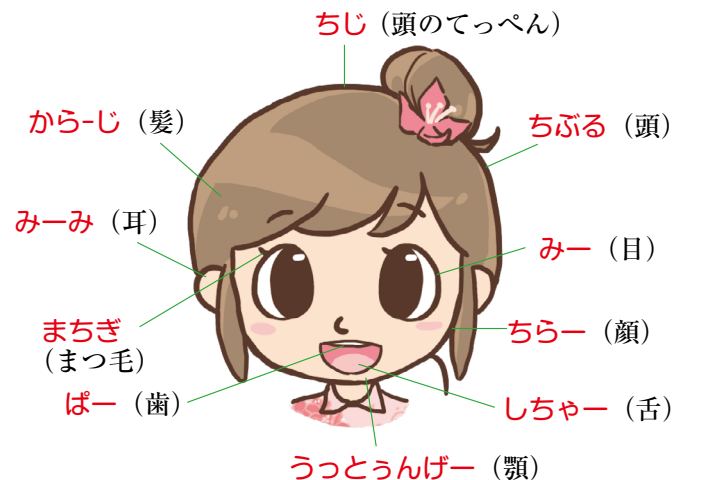


3, 身体用語



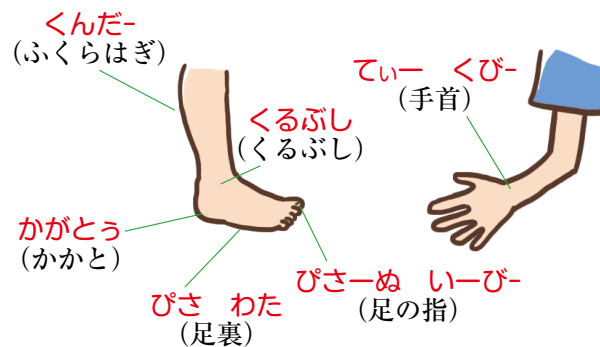
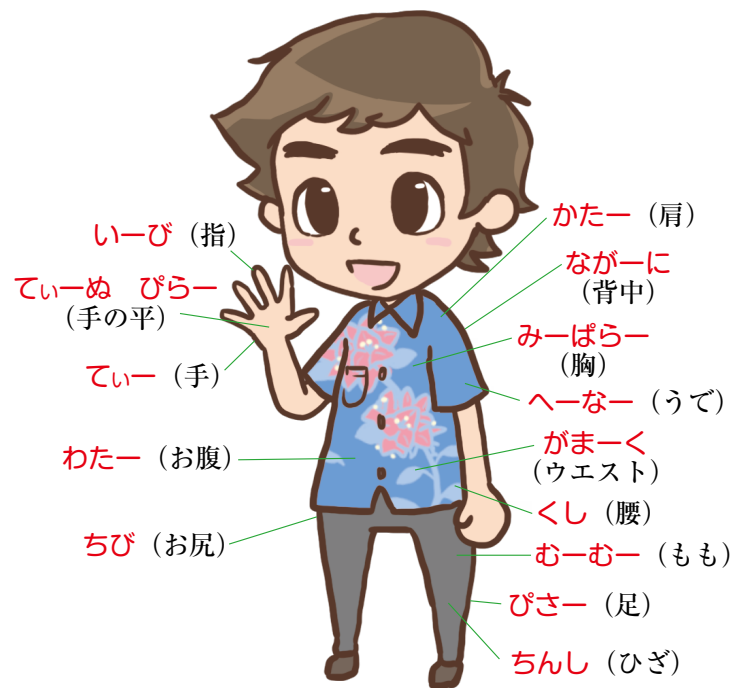
◆身体を表すことば (どうー あらわす くとうば)

～頭から足先までのしまくとうば～



ぴじえー (左)

みぎー (右)





◆身体に関連する言葉

いき- (息)

いき きらーち

(息を切らせる)



あしー (汗)

あしばやー (汗かき)



なだー (涙) なだよーさん (涙もろい)

なだぐるぐるー (涙がとめどなく流れる様子)



とうんぺー (唾)

かさぐい (痰)

くさ-び (しゃっくり)

さっくい (咳)

ばなー ぷくん (いびきをかく)



けーとうぬ ちゅ

(太っている人)

けーとうん (太っている)



よーがら づちゅ

(痩せている人)

よーがらー

(痩せてガリガリの様子)



わじーん (怒る)

わじとうん (怒っている)

わじやー (怒りんぼ)



さーぷーぷー (ほろ酔い)

いーちゅー (酔っ払い)

いーている ういんな? (酔っ払っているのか?)

ぐてー ちゅーはん (力の強い人)

まぎちゅ (体の大きい人)

えんだはん (優しい)

やっぱてーみ (おとなしい)

うとうるさん (怖い)

しかぶらー (恐がり)

4, お祝いや行事等で使えるしまくとぅば



乾杯、結婚式、祝賀会等や祝福、お悔やみ

◆お祝い

- ・きょうは、祝いのご案内をいただき、ありがとうございます。

くーや、うゆえーぬ うんちけー うきやびてい、
いっぺー にへーでーびる。

- ・こんにちは。健康を願って乾杯をして、きょうは盛り上げましょうね。

はいさい。どー がんじゅーさ にげーてい さかぢち
かみやびてい、くーや ばねーかちまやー。

- ・きょうは、盛り上げましょうね。

くーや ばねーかちまやー (ばねーかさやー)。

- ・ひと言、挨拶を申し上げます。

ちゅくとうば、えーさち
うんぬきやびら。

えーさち
うんぬきやびら



初顔合わせ (いちごーむい) / 仲人 (なかだち)

結婚 (にーびち) / 盛大な結婚式 (うふにーびち)

※結婚式で盃を交わすこと (さかぢち かわすん)

結婚適齢期 (とうしぐる) / 指輪 (いーびなぎー)



◆「おめでとうございます」を表現することば

- ・あなたがチャンピオンになったのは親戚の誇りだよ。

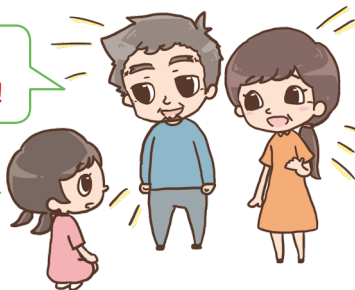
っやーが チャンピオンに なたしや、えーかびーぬ
みよーがどー。

- ・あなたが試験に合格したのは、私たちの誇りだよ。

っやーが 試験 かかたしや、
わったー みょうがやー。

わったー
みょうが やー!

にへーでーびる



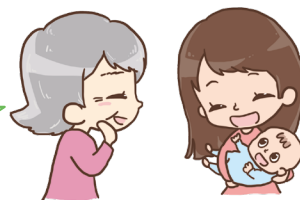
- ・高校合格おめでとう。

高校に かかてい おめでとう。

- ・赤ちゃんが産まれたんだってね。おめでとう。

くわーぐわー うまりたんていやー。おめでとう。

くわーぐわー
うまりたんていやー。



※「おめでとう」に対応する言葉を聞き取ることはできませんでした。「おめでとう」と直接言うのでは無く、他の言い回して表現していたと思われます。



◆行事の際に使うことば

・清明祭 しーみー

ご先祖様、子や孫が揃って、清明に来ましたよ。

うやふぁーふーじー、くわ まーが すりてい、

しーみーに ちゃーびたんどー。

ご先祖様に、手を合わせましょうね。

うやふぁーふーじーに、うーとーとー さーやー。

手を合わせてから、

ごちそうをいただきますよう。

うーとーとー しちから、

くわっちー さびらやー。

うーとーとー



※「うーとーとー」は、「手を合わせる」「お祈りする」の意味です。

・七 夕 たなばたー

これから墓の掃除をしましょうね。

くりから ぱかーぬ そーじ さびらうー。

お盆のときには、みんな揃って家に来てください。

しちぐわちにや、むる すりてい やーに

めんそーりよー。



・旧 盆 しちぐわち

(祖霊を) お迎えしましょう。

うんけー さびら。

お盆のお供えものを、お召し上がり下さい。

しちぐわちぬ うさぎむん、うさがいみそーれー。

仏壇のお供えものをいただきますよう。

ぶちだんぬ うさぎむん うさんてー さびら。

お見送りしましょう。

うーくい さびら。

また、いらっしゃってください。

また、めんそーりよー。

・「お悔やみ」に関することば

葬式(だび) 喪服(くるぎぬ) 坊さん(ぼーじ)

葬儀の後の七日ごとの法事(なんかー・はちなんかー=初

七日・しんじゅーくにち=四九日)

法事(年忌の法要) すーこー

葬式の翌日に墓参りをする事 なーちゃみー

どこが悪かったんですか？

だーぬが わっさたる？

※沖縄では、共通語の「ご愁傷さます」に対応することばはありません。

うーくい さびら！



5, 拝みのときにつかうしまくとうば



火の神や屋敷拝み、トートーメーなど

◆祈願することば (にんぐわん くとうば)

- ・「うーとーとー」(※神や祖先を拝ときに発する言葉。)
- ・「ひぬかん」(※火の神：台所のレンジの近くに祀られている「かまどの神」。)

火=っぴー 火が燃えているよ=っぴーぬ めーとうんどー

- ・「うぐわん ぶすく」(※神や祖先への祈願や儀式などが、充分にされていないこと。)
- ・「ぷーるぬ かみさま」(※トイレの神様)
- ・良い正月です。今年も健康にしてください。

いー そーぐわちやー。くとうしん また
どー がんじゅーく うにげー さびら。

今年もよろしくお願いします。



くとうしん また ゆたしく うにげー さびら。

- ・十六日(旧暦1月16日に行う墓参り)の際の祈願ことば
きょうは十六日祭です。ごちそうを用意してきました
ので、皆様でお召し上がりください。

くーや じゅーろくにち いえーびーん。

くわっちー しこーてい ちゃーびてーくとう、

むるち うさがいみそーれー。



- ・清明祭のとき、お墓で祈願することば

ご先祖様、みんなで清明をしに参りました。ごちそう
を用意してきましたので、お受け取りください。

うやふあーふーじ、むるち しーみーに

ちゃーびたん。くわっちー しこーてい

ちゃーびてーくとう、うきとぅいみ そーりよー。

- ・屋敷の御願 やしきぬ うぐわん

きょうは屋敷の拝みごとを行いをししますので、お受け
取りください。いつもお守りくださりありがとうございます。
います。

くーや やしきぬ うぐわん うさぎーびーくとう、

うきとぅいみ そーりよー。ちゃー みーまむい しち

とぅらち いっぺー にへーでーびる。

◆まじないことば (まじないくとうば)

- ・「まぶやーぐみ」(※魂を込めることば)
- ・魂よ、追いかけてきなさい。魂よ入ってきてください。
まぶやーよー、うーていきーよー。まぶやー いち きみ
そーりよー。

- ・お母さん以外は、誰も見ないよ。

お母さんだけを見て、他は見ないよ。

あんまーかん ふかや たーん みらんどー。

あんまーる みんどー、たるん みらんどー。

